クリニカルパスウェイ
乳房(部分)切除術＋腋窩リンパ節郭清を受ける患者さんへ

2017年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外科外来	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2～3日目	術後4日目以降	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日　時頃		月　日	月　日	月　日	月　日
目標	□手術に向け体調を整えましょう □疾患、術式を理解した上で術式選択をしましょう	□手術の準備をしましょう	**＜手術前＞** □安全に手術が受けられるよう準備をしましょう	**＜手術後＞** □身体の回復を促しましょう	□身体の回復を促しましょう	□傷の回復を促しましょう	□傷の回復を促しましょう	□診察後、午前中に退院となります
食事	□特に制限はありません	□常食(必要時制限食) □夜9時以降絶食 □飲水に関しては麻酔医より指示があります	□絶飲食です 	□絶飲食です	□朝から水分摂取可能です □昼から常食(必要時制限食)を開始します	□常食 □必要時制限食となります 	□常食 □必要時制限食となります	□特に制限はありません
活動	□特に制限はありません	□特に制限はありません	□特に制限はありません □手術着に着替えてください	□ベッド上安静です 	□手術した方の腕は、肩の高さより上には挙げないでください □リハビリテーションを開始します	□手術した方の腕は、肩の高さより上には挙げないでください	→ □手術5日目以降で、手術部位の管が抜けたら、積極的にリハビリテーションを行います	□特に制限はありません □リハビリテーションは手術から　半年間続けてください
検査処置	□手術に必要な検査を行います (採血・尿検査・レントゲン・呼吸機能検査・心電図等) 	□必要時、他科の診察があります □手術する側の手の甲に印をつけます	□手術着に着替えます 	□尿道に管が入る場合があります □酸素投与を行います	□尿を出す管を抜きます □回診で傷を覆っているガーゼを外します □採血・レントゲンがあります	□手術部位の管(ドレーン)抜去の目安は、**30ml/日以下**の日が2日以上連続した時です(医師の判断で変わることがあります)	→	□外来予約票をお渡しします □手術から1週間後、ドレッシング剤(傷全体に貼っているテープ)を剥がします　白いテープ(ステリー)は自然に剥がれるまで、そのまま貼っていてください
薬	□手術前に休薬する薬はがある場合は期日を守ってください □市販薬・サプリメントは手術に影響するものがあるため、2週間前より服用しないでください □入院時に常用薬をお持ちください	□入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください □常用薬は医師の指示に従い内服してください □薬剤師から薬の説明があります	□常用薬は医師の指示に従い、内服してください 	□常用薬は中止 □抗生剤の点滴をします □適時、痛み止めや吐き気止めの点滴をします	□常用薬は医師の指示に従い、再開します □抗生剤を内服してください(3日間) □痛み止め、胃薬を内服してください(1週間)	→	→	→
清潔		□入浴してください	□入浴はできません	□適時うがいをして口腔内を清潔に保ちましょう	□入浴はできません □全身を蒸しタオルで拭きます	□下半身シャワーや洗髪ができます □必要時看護師が介助しますので、お声掛けください		□手術部位の管(ドレーン)を抜去した翌日から全身入浴ができます □創部は泡立てた石鹸で優しく洗ってください
指導説明	□入院・手術についての説明があります □喘息やアレルギーがある方は医師・看護師に知らせてください □喫煙されている方は、術後痰が多くなりやすく、傷の回復に影響を及ぼす可能性がありますので禁煙に努めてください	□病棟案内があります □看護師より手術前後の説明があります **＜入院時必要物品＞** □常用薬 □同意書一式 □この説明書 □日常生活物品		□手術部位の管(ドレーン)を引っ張らないように注意しながら、寝返りをうつことができます　身体で管をつぶしたりしないよう気をつけてください	□手術部位の管(ドレーン)を引っ張ったり、身体の下に巻き込んだり、臀部で踏んだりしないよう気をつけてください	□看護師からリハビリテーションについて説明があります □管(ドレーン)を引っ張ったり、身体や臀部で踏まないよう注意してください	□積極的にリハビリテーションを進めてください □腋窩リンパ節の郭清により、リンパ浮腫を発症する可能性がありますので、リンパ浮腫予防指導があります(別紙参照)	□創部に発赤や腫脹、熱感、疼痛がある場合は、電話連絡の上、外来受診してください □乳房補整用品の紹介を希望される方は看護師にお声掛けください。使用開始時期と購入方法についてご説明します (製品の見本もあります)

《連絡先》 東京慈恵会医科大学西部医療センター　　TEL:03－3480－1151